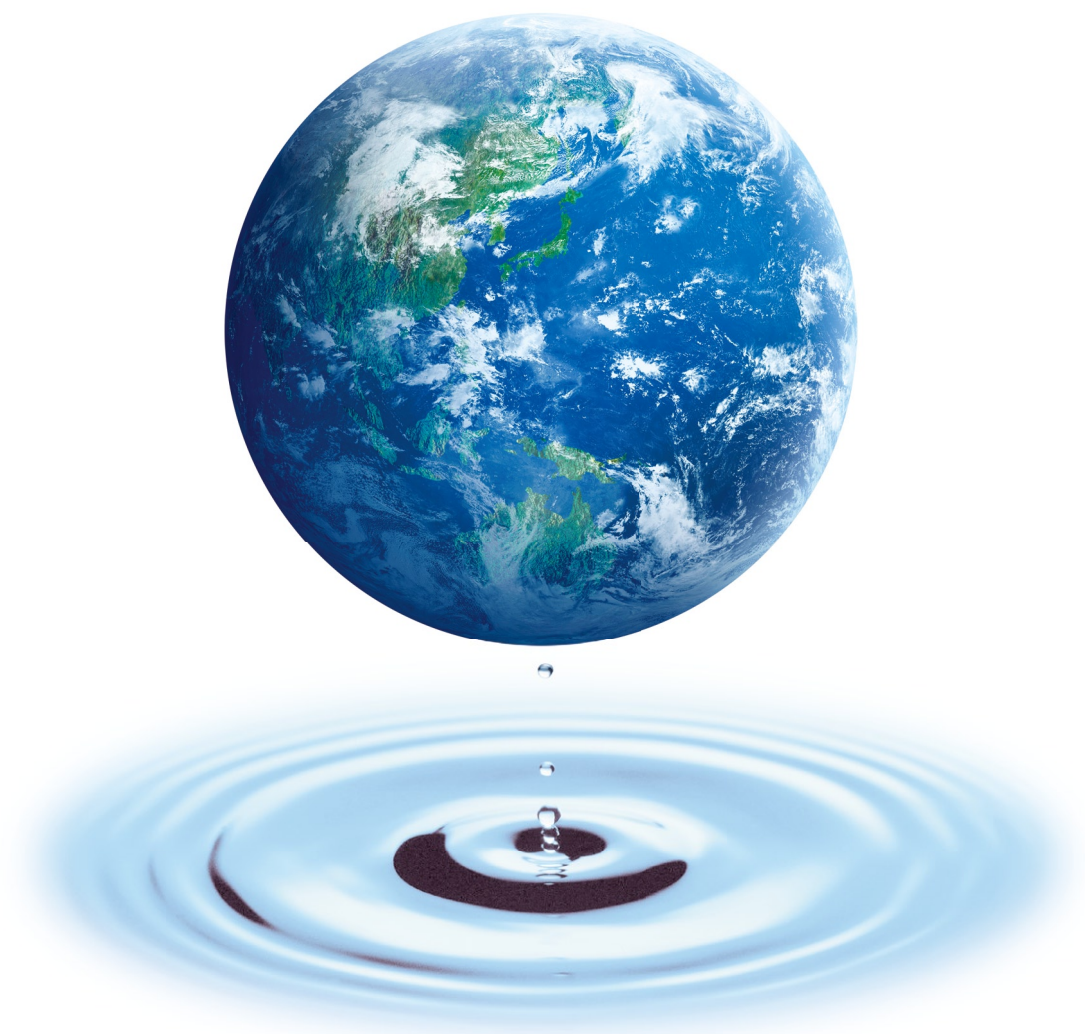


環境報告書

Environmental Report

2012



株式会社 エスアールエル

CONTENTS

編集方針 …… 1

企業理念／会社概要 …… 2

- 企業理念
- エスアールエルグループが受託する臨床検体検査
- 会社概要

社長メッセージ …… 3

環境方針 …… 4

- エスアールエルグループ環境保全推進宣言
- エスアールエル環境方針

環境影響 …… 5

- エスアールエルの事業活動と環境への影響

2011 年度 環境への取り組み …… 6

- 環境教育の実施
- エネルギー使用量の削減
- 廃棄物の削減
- 行政への報告
- CO₂ 排出量削減施策

TOPICS 2011 年 EMS 活動 …… 9

- 環境の変化
- 八王子ラボ群の取り組み
- 関西ラボの取り組み
- 新宿ラボ 108 番目の事業所ISO14001 認証取得
- 八王子ラボ群の大型廃棄物処理システム始動
- 八王子ラボ群の大型発電機の導入
- 電気自動車の導入

編集後記 …… 12

ISO14001 認証事業所 MAP (22 エリア 108 事業所) …… 13

事業所一覧 …… 14

● 編集方針

エスアールエルは、皆さまに当社の環境管理活動を知っていただくため、2011年に初めて「環境報告書2011」を発行いたしました。それから一年、「環境報告書2012」(第2号)を発行することができました。昨年は、東日本大震災の影響による、エネルギー事情の悪化に対し、環境マネジメントの仕組みを使って節電活動に取り組み、乗り切っていました。

今回の環境報告書では、皆様にその取り組みの結果をご報告いたします。

「環境報告書2012」は、エスアールエルの環境管理活動について、以下の内容を中心にご報告させていただきます。

- エスアールエルの事業活動による環境影響
- エスアールエルの環境への取り組み
- エスアールエルの環境活動

環境報告書は、できるだけたくさんの皆さまとコミュニケーションを図っていくため、ホームページへの掲載と冊子を発行し、内容を「読みやすく」「わかりやすく」を心がけて作成していきます。



● 準拠するガイドライン

「環境報告ガイドライン(2007年版)」(平成19月環境省発行)に準拠して作成しています。

● 報告対象期間

2011年度(2011年4月1日～2012年3月31日)

● 対象組織の範囲

検査ラボラトリーおよび営業所を含む108事業所

企業理念／会社概要

企業理念『健康で豊かな社会づくりに貢献する』

●エスアールエルグループの求める5つの価値

顧客本位 私たちは、常にお客さまの視点を重視したサービスを開発し、提供します。

品質主義 私たちは、あらゆる活動において、限りなく品質の向上を追求します。

情報重視 私たちは、さまざまな情報や情報システムを活用することで、新しい価値を生み出します。

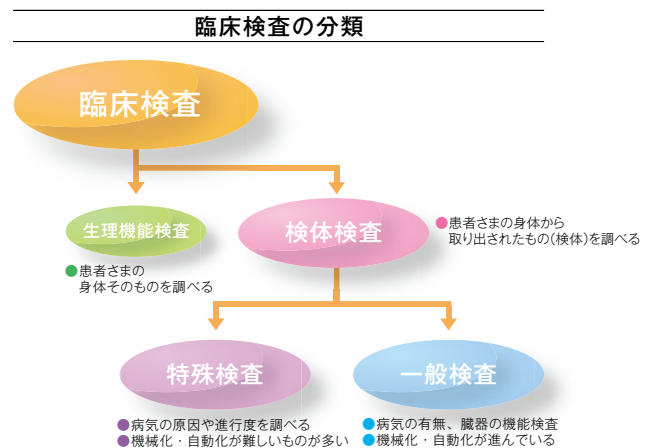
標準志向 私たちは、健康を願うすべての人々に、標準となるような優れたサービスを開発し、提供します。

個の尊重 私たちは、お客さま、従業員、一人ひとりを尊重し、個々の可能性を信じて活動します。



●エスアールエルグループが受託する臨床検体検査

臨床検査とは、ある病気の有無、場所、程度などについて、患者さまの身体をさまざまな方法で調べ、結果データを報告することです。臨床検査は右の図のように分類することができ、エスアールエルグループは臨床検体検査全般のアウトソーシングを承っています。なかでもエスアールエルは、特殊検査の受託に強みを持っています。



●会社概要

- 社名** 株式会社エスアールエル
- 設立** 1970年(昭和45年)6月16日
- 本社** 〒163-0409 東京都新宿区西新宿二丁目1番1号 TEL: 03-6279-0900 (大代表) (2012年10月22日移転)
- 代表者名** 代表取締役社長 小川 真史
- 事業内容** 受託臨床検査事業、感染防止商品販売 ※食品検査、環境検査(2012年4月で業務を終了しております)
- 資本金** 11,027百万円(2012年3月31日現在)
- 事業所** 八王子ラボラトリー等の主要ラボラトリーおよび、全国営業所
- 従業員数** 1,978名(2012年3月31日現在)

社長メッセージ

環境保全を 私たちの重要課題のひとつと捉え、 全社で積極的に取り組んでまいります。

創業以来、私たちは「健康で豊かな社会づくりに貢献する」という企業理念のもと、受託臨床検査事業を中心に活動を進めてまいりました。

昨今の異常気象や人口増加、資源の枯渇など、環境保全は地球規模で取り組むべき課題と考えています。エスアールエルではこのような問題に対し、企業のあるべき姿として環境保全活動に積極的に取り組んでいくことで社会的責任を果たしてまいります。

環境活動の指針である環境方針を2008年に制定し、内容の拡充に努めてまいりました。また、2010年には「環境マネジメントシステム」の対象施設を全社規模で展開し、現在では108事業所すべてにおいて、認証を取得しております。年を追うごとに、全社員が日々の業務の中で省エネルギー対策や温暖化対策に自然に取り組む文化が醸成されてまいりました。

これからも私たちはより環境に配慮した取り組みに挑戦してまいります。本報告書が私たちの取り組みをご理解いただくための一助となりましたら幸甚でございます。

代表取締役社長 小川 眞史



環境方針

● エスアールエルグループ環境保全推進宣言

エスアールエルグループは、地域の環境保全はもとより、広く地球環境の保全が人類ならびに地球上の生物にとって重要な課題であることを認識します。

また、環境負荷の少ない持続可能な社会システムづくりが経営において重要な課題であることを認識して、環境に配慮した事業活動を推進します。

事業に関わる省エネ・省資源・廃棄物削減の推進を通して、より良い地球環境の実現に向けた活動に取り組んでいきます。

● エスアールエル環境方針

株式会社エスアールエルにおける環境活動の指針である環境方針は、2008年に制定されましたが、2011年ISO14001の全社認証取得を機に、環境方針をより簡潔に刷新いたしました。新たな環境方針のもと、省エネ・省資源活動、環境活動の目的・目標の実現に向けた行動計画をより推進してまいります。

● 環境配慮

私たちは、環境に配慮した事業活動を目指し、人と環境に優しい検査サービスや製品を社会に提供いたします。

● 省エネ・省資源

私たちは、あらゆる活動において、省エネ、省資源行動をおこない、限りある資源を有効に活用します。

● 汚染の予防

私たちは、化学物質の適正管理、廃棄物の適正分別・リサイクルを推進し、汚染の予防に努めます。

● 法規制遵守

私たちは、適用を受ける環境に関する法規制・条例・地域協定など、要求事項を明確にし、遵守します。

● EMS の改善・向上

私たちは、環境活動の目的・目標を定め、定期的に見直し、環境活動の継続的な改善を図ります。

環境影響

● エスアールエルの事業活動と環境への影響

全国22エリア、108事業所における事業活動を通じ、事業所全体の環境影響を把握し、環境保全に配慮した活動を展開しています。そのためにインプットデータとして各種エネルギー、アウトプットデータとして環境に影響を及ぼす物質のデータを把握しています。

これらの環境影響に対し、省エネルギー活動による資源の節約、環境に影響を及ぼす物質の低減を目標とし、達成することで、環境への負荷低減を目指します。

● エスアールエル全社 2011年度 環境影響データ

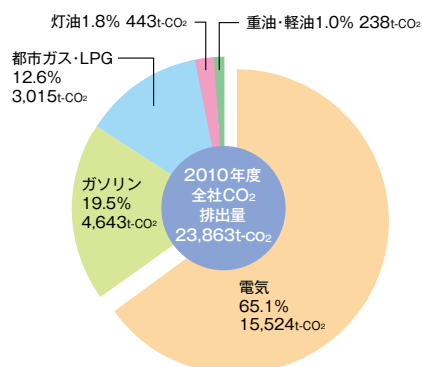


2011年度 環境への取り組み

● 環境教育の実施

業務に携わるすべての構成員には、「環境方針」をはじめ、廃棄物の法的事項、環境問題（電気事業法 第27条、原子力発電）についても教育を実施いたしました。エリア責任者に対しては、2011年9月に外部講師による「ISO14001の規格内容」を中心とした集合教育を実施いたしました。

● エネルギー使用量の削減



2011年度の EMS 活動開始にあたり、2010 年度全社エネルギー使用量をCO₂ 排出量に換算して、使用状況を調査しました。その結果、ほぼ昨年同様に、CO₂ 排出量の 84.6%が電気、ガソリンによるものであり、2011年度も引き続き、以下の2つを環境への取り組みといたしました。重油・軽油は、非常用発電機の稼働により、若干増加しましたが、全エネルギー使用量の割合としては、変動はありませんでした。

- ① 電気使用量の削減・・・CO₂ 削減【全社共通目標】
- ② 車両燃費の向上・・・【営業共通目標】

① 電気使用量の削減

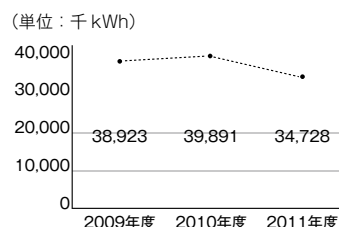
2011年度は、電気使用量の削減として、主に以下の取り組みをしましたが、東京電力・東北電力管内では、電気事業法 第27条が発令されたため、ピーク電力削減対応もいたしました。

● 電気使用量の削減施策

区分	施策	実施内容
全社共通	【継続】 空調の運転改善	<空調設定温度変更> 夏期：従来設定温度より 2℃アップ、冬期：2℃マイナス
	【継続】 照明節電	照明の間引き、昼休み・無人スペースの消灯
	その他	クールビズの期間延長（6～9月 ⇒ 5～10月） ウォームビズの導入（11月～翌年3月）
ピーク電力	業務スペースの集約化	羽村ラボラトリー ⇒ 一部八王子ラボラトリーへ移動 相模原ラボラトリー：フロア集約

● 電気使用量の年間比較

2011年度の電気使用量は、下表の結果となりました。
全社共通の施策の徹底ならびにピーク電力削減対応により、大幅に電気使用量を削減することができました。



項目	2010 年度	2011 年度	対前年比
電気使用量	39,891	34,728	12.9%減

2011年度 環境への取り組み

② 車両燃費の向上

2011年度は、「車両燃費の向上」として、以下の取り組みを実施しました。

● 車両燃費の向上・施策

No	施策	実施内容
1	エコドライブの啓蒙活動	
2	エリアの個別施策の実施	燃費の悪い運転者への個別指導など

● 車両燃費の年間比較

2011年度の車両燃費は、下表の結果となりました。

エコドライブも浸透し、燃費が向上しています。

今後は、環境への負荷低減ができる車両の導入を検討していきます。

(単位：km/L)			
項目	2010年度	2011年度	対前年比
車両燃費	14.0	14.1	0.7%向上

③ 2011年度 CO₂ 排出量の結果

①, ②の取り組みにより、2011年度の全社CO₂排出量は、以下の結果となりました。

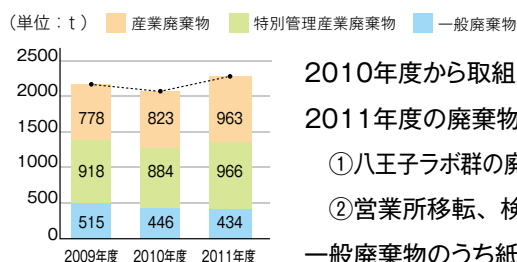
(単位：t-CO ₂)			
項目	2010年度	2011年度	対前年比
CO ₂ 排出量	23,863	21,005	12.0%減

廃棄物の削減

2011年度の廃棄物の状況は、9.9%増という結果となりました。

(単位：t)			
項目	2010年度	2011年度	対前年比
廃棄物量	2,153	2,366	9.9 増

<廃棄物量の内訳>



2010年度から取組んだ廃棄物の分別について、全エリアで徹底いたしました。

2011年度の廃棄物量増加の主な原因は、以下の2つとなります。

- ① 八王子ラボ群の廃棄物処理システム入替え時(2ヶ月間処理停止)の特別管理産業廃棄物の増加
- ② 営業所移転、検査室の集約、検査機器の入れ替え

一般廃棄物のうち紙ゴミについてはリサイクル化が徐々に進んでおります。

[九州地区のリサイクル化の推進について]

九州地区では、2011年度に福岡ラボだけで実施されていた紙リサイクルを15サイト(20サイト中)に広めました。

広域をカバーできる業者を選定し、回収効率があがるよう調整いたしました。未実施サイトは、地理的に回収が難しいサイトであり、再度業者選定からはじめ、九州地区全体のリサイクル化が完了できるよう進めていきます。

● 行政への報告

(1) 省エネルギー法

① エネルギー使用状況(原単位報告)

項目	2009年度	2010年度	2011年度
原単位	0.03311	0.03340	0.02885
対前年比	—	0.9%増	13.6%減

原単位：原油換算値 / 報告テスト数
対象：全事業所
努力義務：原単位前年比1%以上削減

② 温室効果ガス排出量の状況

(単位：t-CO₂)

項目	2009年度	2010年度	2011年度
CO ₂ 排出量	20,058	19,090	16,323
対前年比	—	4.8%減	14.5%減

(2) 東京都地球温暖化対策

(単位：t-CO₂)

項目	基準年	2010年度	2011年度
CO ₂ 排出量	6,184	5,554	4,843
対基準年比	—	10.2%減	21.7%減

対象施設：八王子ラボラトリーの一部(第1・第2ラボ)、日野管理棟
基準年：2005～2007年のCO₂排出量平均値
削減義務：CO₂排出量基準年比8%以上の削減(2010～2014年の5年間平均値)

※対前年比は、小数点以下の処理の為、必ずしも一致しない場合があります。

● CO₂ 排出量削減施策

エスアールエルでは、CO₂排出量の削減として、「省エネルギー法」、「東京都地球温暖化対策」の施策に取り組んできました。現状では、人的な努力による部分が多く、そのギャップを埋めるべく設備のリプレイスの際には高エネルギー効率の設備、照明のLED化等、最新技術の導入に努めてまいります。

事業所	施策
八王子ラボ	空調の設備の改善とオーバーホール
羽村ラボ	焼却炉の廃止
福岡ラボ	空調制御方法の変更
立川営業所	事業所の統合(八王子ラボラトリーへ)
福岡営業所	事業所の統合(福岡ラボラトリーへ)

<今後実施予定 CO₂排出量の削減施策>

事業所	施策
全事業所	照明改善(LED化)
八王子ラボ	照明改善(LED化、人感センサーの導入)
	空調機の統合
	冷却水ポンプの流量調整
	検査 冷蔵室の集約
福岡ラボ	空調改善(集中から一部個別制御へ)
相模原ラボ	空調改善(集中から一部個別制御へ)



TOPICS 2011年 EMS活動

● 環境の変化

東日本大震災 (2011.3.11) による電力のひっ迫は、震災地だけにとどまらず、日本全国に広がりました。震災直後より、最大規模の事業拠点である八王子ラボ群が計画停電の区域に指定されたり、東京電力・東北電力管内では、電気事業法第27条も発令され、ピーク電力の削減対応に取り組むなど、エネルギーを取り巻く環境が大きく変化した年でもありました。

● 八王子ラボ群の取り組み

● 八王子ラボ群の節電施策について

八王子ラボ群は、複数の大規模な建物の集合体であり、電気事業法第27条の発令による、最大使用電力（ピーク電力）前年比削減義務について、さまざまな節電施策を実施しました。

*ピーク電力の削減への対応

八王子ラボ群全体で、最大使用電力（ピーク電力）前年比15%の削減義務に向け、部署の枠を超えて八王子ラボ群全体で取り組みました。施策として、照明設備の削減、空調設定温度の変更、検査室の集約化、さらにエレベーターの使用制限、自動販売機の削減などを実施しました。

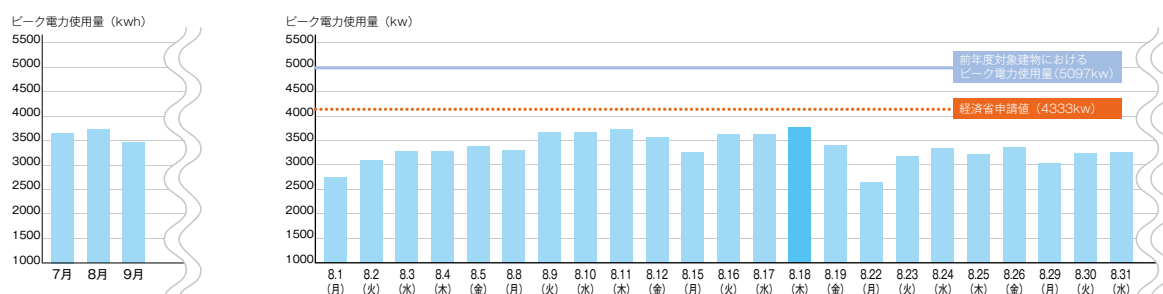


八王子ラボ群全体での取り組みは、検査精度への影響や報告の遅延などを生じさせることなく、全国のお客様への影響を最小限にしつつ、最大使用電力（ピーク電力）の削減義務である前年比15%を大きく上回る、前年比27%削減の結果を出すことができました。

ピーク電力

2010年度：5,096kw ⇒ **2011年度：3,736kw** (▲27.0%)

<八王子ラボ群ピーク電力使用量>



最大使用電力（ピーク電力）は、使用状況を毎日計測し、社内ネット上に掲載して各自が自覚をもって節電に取り組めるようにいたしました。

TOPICS 2011年 EMS活動

● 関西ラボの取り組み

● 関西電力管内の節電

関西電力管内では、法的な拘束力はないものの、10%の節電要請があり、関西ラボ一丸となって節電に努めるとともに、「デマンド警報機」も設置し、電力使用量を監視する体制を構築しました。

節電施策としては、照明の削減、不要な照明の消灯、空調の温度設定の変更に取り組みました。デマンド警報機の警報時には、全館放送のうえ、節電施策の徹底を図りました。



ピーク電力 2010年度：330kw ⇒ **2011年度：259kw** (▲21.5%)

最終的には、ピーク電力を21.5%削減という結果を出し、2011年の暑い夏は終わりを告げました。関西電力管内の2012年の夏は、昨年よりさらに厳しい状況ですが、一人ひとりの努力の積み重ねにより、乗り切てまいります。

【用語説明】

- ①電気事業法 第27条・・・供給される電力が使用量よりも不足する恐れがある場合、経済産業大臣が発動する電力の使用制限措置のことです。
- ②計画停電・・・・・・ 輪番停電ともいい、電力需要が電力供給能力を上回ることによる大規模停電を避けるため、電力会社により一定地域ごとに電力供給を順次停止 / 再開させることです。

*2012年夏季も、北海道電力、関西電力、四国電力、九州電力管内で、計画区域の設定が行われています。

● 新宿ラボ 108番目の事業所 ISO14001 認証取得



新宿ラボが、108番目の事業所として、ISO14001の認証を取得いたしました。高層ビルが建ち並ぶ新宿新都心の新宿フロントタワー 3階の医療モールに位置し、首都圏の拠点となる迅速ラボとしての役割を担っています。

今後は、PDCAサイクルを上手く廻し、環境影響の少ないラボを目指してまいりますので、よろしくお願いいたします。

<新宿ラボラトリー> 東京都新宿区北新宿2丁目21番1号 新宿フロントタワー3階

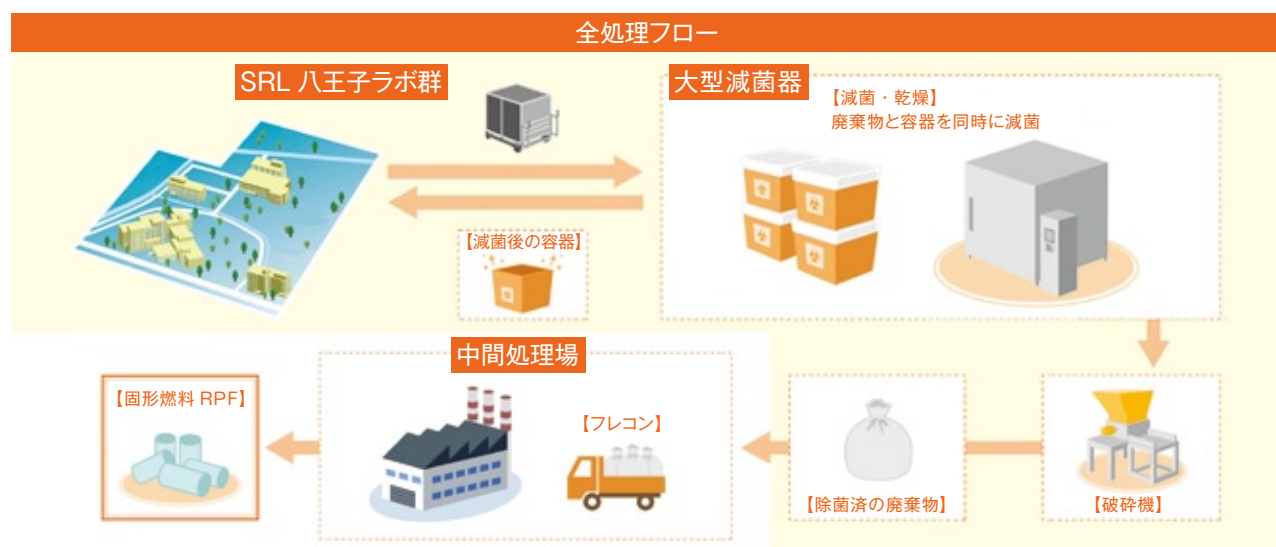
● [高機能オゾン排水装置の導入]

新宿ラボを手始めに、オゾン発生装置を内蔵した滅菌機能付き排水処理装置を積極的に導入してまいります。2012年1月に移転オープンした沼津ラボにも同様のオゾン滅菌機能付き排水処理装置を導入しました。

TOPICS 2011年 EMS活動

● 八王子ラボ群の大型廃棄物処理システム始動（高圧蒸気滅菌装置）

エスアールエルでは、検査実施後の検体は一定期間保管後、感染の恐れがある廃棄物（検査済みの検体、検査で使用した資材等）＝「特別管理産業廃棄物」として、最終処分に至るまで、厳重な管理の下で処理しております。感染性廃棄物は、多くがプラスチック類であることに着目し、感染性廃棄物のリスクの軽減も考慮の上、「高圧蒸気滅菌」を採用し、処理済みの廃棄物を固形化燃料として再利用できるシステムを構築し、運用してまいりました。その結果、年間の感染性廃棄物（800トン）の約半分の400トンを実固形化燃料としてリサイクルが可能となりました。2011年には、既存のシステムをリニューアルし、八王子ラボ群の5つの全てのラボの感染性廃棄物が処理可能な「大型高圧蒸気滅菌装置」を稼働させました。



【固形化燃料（RPF）】

Refuse Paper & Plastic Fuel の略称である。廃棄物のなかで、マテリアルリサイクルが困難な古紙、プラスチックなどを原料とした高カロリーの固形燃料のことです。RPFは、石炭やコークス等、化石燃料の代替として使われています。

● 八王子ラボ群の大型発電機の導入



八王子ラボ群では、災害などの予期せぬ出来事の発生に対応し、事業活動の継続および速やかに事業再開が可能となるように、既存のものに加え新たに大型発電機を各ラボに導入いたしました。燃料として使用する軽油は、環境に負荷がかかるものの、発電機は、すべてオートコントロールされ、検査機器、保安設備に安定した電力を供給することが可能です。非常時には、お客さまよりお預かりした大切な検体をお守りいたします。

● 電気自動車の導入



エスアールエルでは、業務用車両の小型化や、エコドライブの推進・燃料使用量の低減など環境に配慮した自動車の活用を積極的に進めており、2012年6月に環境への負荷低減の一環として、電気自動車（i-MiEV アイミーブ）を八王子ラボに導入いたしました。

編集後記

2011年度 第1号に続き、今回第 2 号を発刊することができました。2011年度は、3.11の大震災およびその後の電力不足対応など、企業として取り組まねばならない課題が多々発生し、その対応に追われた年でありましたが、EMS活動の重要性を再認識した年でもありました。

エネルギーや資源の消費量削減の意識は確実に高まっており、各部署に日常的な活動として定着してきております。「環境報告書」を通じて当社の環境に関する活動内容をご理解いただければ幸いです。

また、お気づきの点がございましたら、ご意見をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

環境管理責任者 楠木 明仁

発行部署

株式会社エスアールエル 総務部
東京都新宿区西新宿二丁目 1 番 1 号
発行月 2012 年11月
ホームページ <http://www.srl-group.co.jp>

問い合わせ先

株式会社エスアールエル
TEL 03-6279-0900 (大代表)
FAX 03-6279-0971

ISO14001 認証事業所 MAP (22 エリア 108 事業所)

エリア名	No.	拠点名
九州検査部	①	福岡ラボトリー 九州営業部 福岡営業所 環境検査部 健康営業所
	②	筑後ラボトリー
九州営業部	③	福岡出張所 福岡西ラボトリー
	④	北九州営業所 北九州ラボトリー
	⑤	筑豊駐在所 筑豊ラボトリー
	⑥	久留米営業所 久留米ラボトリー
	⑦	八女分室 八女ラボトリー
	⑧	大牟田分室 大牟田ラボトリー
	⑨	佐賀営業所 佐賀ラボトリー
	⑩	長崎営業所 長崎ラボトリー
	⑪	佐世保出張所 佐世保ラボトリー
	⑫	熊本営業所 熊本ラボトリー
	⑬	天草駐在所 天草ラボトリー
	⑭	大分営業所 大分ラボトリー
	⑮	中津駐在所 中津ラボトリー
	⑯	宮崎営業所 宮崎ラボトリー
	⑰	都城駐在所 都城ラボトリー
	⑱	延岡駐在所 延岡ラボトリー
	⑲	鹿児島営業所 鹿児島ラボトリー
	⑳	出水駐在所 出水ラボトリー
	㉑	沖縄営業所

エリア名	No.	拠点名
東北営業部	①	東北営業部 仙台営業所
	②	青森営業所
	③	八戸出張所
	④	盛岡営業所
	⑤	秋田営業所
	⑥	山形営業所
	⑦	湯田出張所
	⑧	福島中央営業所
	⑨	いわき出張所

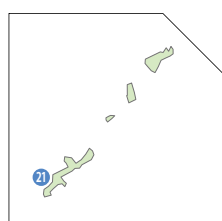
エリア名	No.	拠点名
北陸検査部	①	金沢ラボトリー 北陸営業部 金沢営業所
	②	富山ラボトリー 富山営業所
北陸営業部	③	福井出張所
	④	能登出張所

エリア名	No.	拠点名
中国・四国営業部	①	広島営業所
	②	島根営業所
	③	中国・四国営業部 岡山営業所
	④	福山営業所
	⑤	山口営業所
	⑥	徳島営業所
	⑦	高松営業所
	⑧	松山営業所
	⑨	高知営業所

- 本社
- 検査ラボトリー
- 営業所

エリア名	No.	拠点名
北海道検査部	①	北海道ラボトリー 北海道営業部 札幌営業所
	②	北海道ラボトリー 第2ラボ
	③	札幌ステーションラボトリー
北海道営業部	④	苫小牧出張所
	⑤	室蘭分室
	⑥	旭川営業所
	⑦	北見出張所
	⑧	釧路営業所
	⑨	帯広分室
	⑩	函館営業所

エリア名	No.	拠点名
新宿本社	①	新宿本社
八王子ラボトリー群	②	八王子ラボトリー 第3八王子ラボトリー 遺伝子・染色体解析センター
	③	羽村ラボトリー
羽村検査部	④	相模原ラボトリー
医科学分析センター	⑤	MUQSラボトリー
首都圏地域検査部	⑥	練馬ラボトリー 東京第五営業所 健康営業所
	⑦	新宿ラボトリー
	⑧	四ツ谷ラボトリー
	⑨	千葉中央臨床検査センター
	⑩	横浜ラボトリー 横浜第一営業所
	⑪	千葉ラボトリー 千葉第二営業所
	⑫	宇都宮ラボトリー 宇都宮営業所
	⑬	健康営業所(大森)
	⑭	東京第一営業所
	⑮	東京第三営業所 五反田ラボトリー
首都圏第一営業部	⑯	東京第四営業所 横須賀出張所
	⑰	横浜第二営業所
	⑱	厚木営業所
	⑲	千葉第一営業所
	㉑	首都圏第二営業部 埼玉営業所
	㉒	川越営業所
首都圏第二営業部	㉓	茨城営業所
	㉔	つくば出張所
	㉕	北関東営業所
	㉖	群馬営業所
	㉗	新潟営業所
	㉘	長野営業所
	㉙	飯田駐在所 飯田ラボトリー
	㉚	松本分室
	㉛	大北分室 大北ラボトリー
	㉜	上田営業所 上田ラボトリー
企画営業部	㉝	山梨営業所
	㉞	企画営業部 首都圏第一営業部 東京第二営業所
システム管理部	㉟	システム管理部 八王子営業所
	㊱	感染防止商品グループ



エリア名	No.	拠点名
関西検査部	①	関西ラボトリー 近畿営業部 大阪中央営業所 健康営業所
	②	大阪北営業所
近畿営業部	③	京都営業所
	④	福知山駐在所
	⑤	滋賀営業所
	⑥	大阪南営業所
	⑦	神戸営業所
	⑧	姫路営業所
	⑨	奈良営業所
	⑩	和歌山営業所

エリア名	No.	拠点名
静岡検査部	①	静岡ラボトリー 静岡営業所
	②	沼津ラボトリー 沼津営業所
愛知検査部	③	愛知ラボトリー 名古屋第二営業所
	④	豊川ラボトリー
中部営業部	⑤	中部営業部 名古屋第一営業所
	⑥	岐阜営業所
	⑦	岡崎営業所
	⑧	三重営業所
	⑨	浜松営業所

事業所一覧

検査ラボラトリー

エスアールエル八王子ラボラトリー
〒192-8535 八王子市小宮町 5-1

エスアールエル羽村ラボラトリー
〒205-0003 羽村市緑ヶ丘 3-5-5

エスアールエル相模原ラボラトリー
〒252-0245 相模原市中央区田名塩田 1-3-14

エスアールエル北海道ラボラトリー
〒064-0919 札幌市中央区南 19 条西 13-2-25

エスアールエル金沢ラボラトリー
〒920-0376 金沢市福増町北 839

エスアールエル静岡ラボラトリー
〒420-0803 静岡市葵区千代田 1-1-39

エスアールエル愛知ラボラトリー
〒485-0072 小牧市元町 2-186-2

エスアールエル関西ラボラトリー
〒552-0013 大阪市港区福崎 1-1-54

エスアールエル福岡ラボラトリー
〒816-0906 大野城市中 2-1-8

北海道営業部

札幌 Tel 011-511-9991
〒064-0919 札幌市中央区南 19 条西 13-2-25

苫小牧 Tel 0144-34-1170
〒053-0022 苫小牧市表町 3-2-13

旭川 Tel 0166-33-7908
〒078-8220 旭川市 10 条通 22-2-1

北見 Tel 0157-25-6101
〒090-0040 北見市大通西 3-11-1

釧路 Tel 0154-24-5221
〒085-0008 釧路市入江町 3-19

函館 Tel 0138-53-4750
〒040-0011 函館市本町 8-18

東北営業部

青森 Tel 017-773-1317
〒030-0802 青森市本町 1-2-20

八戸 Tel 0178-20-4191
〒039-1165 八戸市石堂 4-5-16

仙台 Tel 022-287-0550
〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町 8-1

盛岡 Tel 019-645-3100
〒020-0141 盛岡市中屋敷町 1-57

秋田 Tel 018-823-1250
〒010-0951 秋田市山王 6-10-9

山形 Tel 023-687-3011
〒990-2161 山形市漆山 488-1

酒田 Tel 0234-22-7551
〒998-0012 酒田市下安町 14-2

福島中央 Tel 0243-36-2715
〒969-1104 本宮市荒井宇青田原 209-10

いわき Tel 0246-25-2271
〒970-8008 いわき市平中平窪細田町 3-4

首都圏第一営業部

東京第一 Tel 03-5642-7651
〒103-0007 中央区日本橋浜町 2-62-5

東京第二 Tel 03-5332-6581
〒169-0073 新宿区百人町 3-21-18

東京第三 Tel 03-5487-1320
〒141-0031 品川区西五反田 8-3-6

東京第四 Tel 03-5284-1681
〒120-0034 足立区千住 1-12-1

東京第五 Tel 03-5920-2451
〒179-0082 練馬区綿 2-9-14

八王子 Tel 042-586-4415
〒191-0002 日野市新町 5-4-2

横浜第一 Tel 045-314-0201
〒220-0004 横浜市西区北幸 2-10-27

横須賀 Tel 046-824-2866
〒238-0004 横須賀市小川町 4-6

横浜第二 Tel 045-476-5281
〒222-0033 横浜市港北区新横浜 1-13-12

厚木 Tel 046-223-5541
〒243-0003 厚木市寿町 3-1-1

千葉第一 Tel 043-214-2751
〒264-0024 千葉市若葉区高品町 1597-5

千葉第二 Tel 047-491-0391
〒270-1436 白井市七次台 3-18-1

埼玉 Tel 048-836-3161
〒336-0027 さいたま市南区沼影 1-20-1

川越 Tel 049-239-3450
〒350-0809 川越市鯨井新田 6-1

健康 Tel 03-3937-1165
〒179-0082 練馬区綿 2-9-14

首都圏第二営業部

茨城 Tel 029-251-0004
〒311-4141 水戸市赤塚 1-2067-3

つくば Tel 029-827-2271
〒300-0034 土浦市港町 1-5-15

北関東 Tel 0283-21-6671
〒327-0022 佐野市高砂町 2866-1

宇都宮 Tel 028-648-5911
〒320-0851 宇都宮市鶴田町 1557-1

群馬 Tel 027-252-3521
〒371-0846 前橋市元総社町 1-2-3

新潟 Tel 025-283-2828
〒950-0965 新潟市中央区新光町 16-4

長野 Tel 0266-58-0800
〒392-0027 諏訪市湖岸通り 5-11-104

上田 Tel 0268-26-5121
〒386-0041 上田市秋和 200-1

山梨 Tel 055-228-3552
〒400-0031 甲府市丸の内 3-32-12

中部営業部

名古屋第一 Tel 052-704-4735
〒465-0051 名古屋市名東区社が丘 1-308

名古屋第二 Tel 0568-77-5255
〒485-0072 小牧市元町 2-186-1

沼津 Tel 055-923-2005
〒410-0011 沼津市岡宮 749-2

静岡 Tel 054-247-7855
〒420-0803 静岡市葵区千代田 1-1-39

浜松 Tel 053-464-3666
〒433-8122 浜松市中区上島 4-4-23

岡崎 Tel 0564-26-0811
〒444-0044 岡崎市康生通南 2-54-1

三重 Tel 059-232-1205
〒514-0131 津市あかつ台 4-6-6

岐阜 Tel 058-296-7407
〒502-0847 岐阜市早田栄町 3-42

北陸営業部

金沢 Tel 076-269-3241
〒920-0376 金沢市福増町北 839

福井 Tel 0776-53-6533
〒910-0803 福井市高柳町 28-7-3

能登 Tel 0767-22-8050
〒925-0015 羽咋市大川町ヤ 160-9

富山 Tel 076-452-0630
〒930-0827 富山市上飯野 33-3

近畿営業部

大阪北 Tel 06-6833-4019
〒560-0083 豊中市新千里西町 1-1-8

大阪南 Tel 072-223-0236
〒590-0063 堺市堺区中安井町 3-2-13

大阪中央 Tel 06-6573-5196
〒552-0013 大阪市港区福崎 1-1-54

京都 Tel 075-803-6312
〒604-8811 京都市中京区壬生賀陽御所町 3-1

滋賀 Tel 077-586-4182
〒520-2331 野洲市小篠原 1205

神戸 Tel 078-367-6571
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-3-3

姫路 Tel 079-289-0711
〒670-0964 姫路市豊沢町 135

奈良 Tel 0744-24-6431
〒634-0006 橿原市新賀町 237-1

和歌山 Tel 073-472-8436
〒640-8341 和歌山市黒田 46-3

健康 Tel 06-6573-5114
〒552-0013 大阪市港区福崎 1-1-54

中国・四国営業部

広島 Tel 082-263-2677
〒732-0811 広島市南区段原 2-17-2

島根 Tel 0852-22-7152
〒690-0006 松江市伊勢宮町 519-1

岡山 Tel 086-244-3871
〒700-0975 岡山市北区今 4-14-5

福山 Tel 084-931-2451
〒720-0067 福山市西町 2-10-1

山口 Tel 083-973-2801
〒754-0014 山口市小郡高砂町 1-8

徳島 Tel 088-656-8990
〒770-8053 徳島市沖浜東 3-2

高松 Tel 087-867-4053
〒761-8071 高松市伏石町 2078-10

松山 Tel 089-923-8331
〒790-0062 松山市南江戸 3-7-38

高知 Tel 088-884-2712
〒781-8121 高知市葛島 2-7-13

九州営業部

福岡 Tel 092-504-4060
〒816-0906 大野城市中 2-1-8

福岡西 Tel 092-891-6439
〒819-0005 福岡市西区内浜 1-7-1

北九州 Tel 093-653-3635
〒805-0014 北九州市八幡東区茶屋町 5-3

久留米 Tel 0942-45-3115
〒839-0811 久留米市山川神代 1-9-10

佐賀 Tel 0952-32-3981
〒849-0933 佐賀市御本町 4-2

長崎 Tel 095-839-2181
〒851-0103 長崎市中里町 1765-1

佐世保 Tel 0956-39-3913
〒859-3214 佐世保市権常寺 1-4-10

熊本 Tel 096-384-7611
〒861-8039 熊本市東区長嶺南 1-1-100

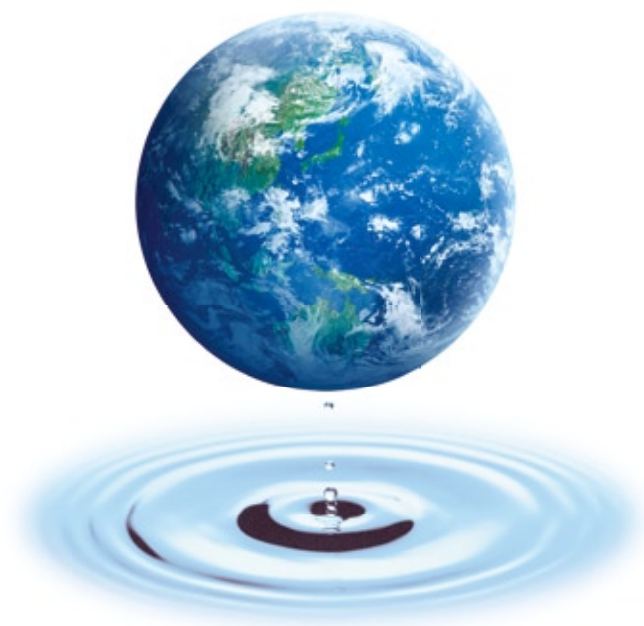
大分 Tel 097-543-3556
〒870-0030 大分市三芳字福原 1071-1

宮崎 Tel 0985-53-6156
〒880-0911 宮崎市大字田吉 5744-3

鹿児島 Tel 099-281-8821
〒890-0034 鹿児島市田上 8-3-33

沖縄 Tel 098-861-6131
〒900-0034 那覇市東町 26-1

健康 Tel 092-504-5745
〒816-0906 大野城市中 2-1-8



株式会社 エスアールエル

Communication for Health